

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

November / 10 / 2023 # 128

---

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

---

## INDEX

- [1] 旬な話題、気になる話題  
『いい刺激を手に入れました』
  - [2] Pepeのひとりごと  
『ライバル』
  - [3] 演奏のヒント！  
『シンプルなものを使って』
  - [4] 編集後記
- 

## [1] 旬な話題、気になる話題

『いい刺激を手に入れました』

9月から、目まぐるしい日々を過ごしています。  
体調を崩すことなくこれまでこれているのが、本当にありがたいことだと感じています（まだ気は抜けませんが）。

10月27日には、第1回目から参加させていただいているNSO  
(Non Strings Orchestra) の記念すべき第10回公演もありました。

年に一度、素敵なメンバーと一緒に音楽を作っていける喜びは、僕の中でとても重要なものになっています。  
今年もとても楽しく充実した時間を過ごすことができました。

今後も活動が続くのかどうかはまだはっきりとしていないのですが、ここで終わるとしてもこれからも続くとしても、後悔のない演奏ができたと思っています。

その他にもいろいろとありましたが、そんな中、先週はイギリスのロンドンへ行ってきました。

初めてロンドンに滞在をしたのですが（それまでは、飛行機、電車の乗り換えだけでした）、いやあ、物価が高いとは聞いていたけど、円安も重なってすごかったです・・・（汗）。

しかし、国際線のターミナルに身を置き（国際線のターミナルではいろんな人間模様が観察できるので面白いんです）、ロンドンの街を歩いて過ごすことは、とてもいいリフレッシュになりましたし、刺激にもなりました。

また、他の国で活動している音楽家の人たちとの交流も少しですがありましたし、いい刺激を手に入れることができました。

まだまだ飛行機のチケット代は高い状態ですが、これからもどんどん外にも出て、活動をしていきたいと思っています。

## [2] Pepeのひとりごと

### 『ライバル』

みなさん、自分の中にライバルって持っていますか？

ライバルって、「好敵手」って書かれることもありますけど、わかりやすい言い方としては「競争相手」ですよね。

僕は、昔からライバルを自分の中に持っていました。どちらかという、ライバルを持つことが上手なほうなのだと思います。

フランスに行っていたときも、僕が籍を置いていたコンセルヴァトワール（音楽院）は地方のもので、特に上手な人というのはいないところでした。

身近には刺激を受けるようなプレイヤーはほとんどいなかったのですが、そのときも、必ず頭の中にはアメリカの仲のいい友達や、同じフランスの中でも高等音楽院で勉強をしている友達などを想像（想定？）して、そういう人たちに負けないように（負けたくなくて）がんばっていました。

そして今現在も、常に自分の目標としている人たちをライバルとして、頭の中に置いています（よく考えてみると・・・もうその状態が普通に

なっているの、あるとき、ふとそのことに気づきました。笑)。

サボりぐせのある人は、ぜひ自分の中にライバルを持つことを試してみてください。

うまくいくかどうかはその人の性格にもよるところが大きいと思うのではつきりとはわかりませんが、何かしらの刺激にはなると思います。

難しいことではありません。

例えば、練習をしているときに「彼ならこんな簡単に吹けるんだろなあ」とか「この曲吹き終えても、こんなにバテてたりしないんだろなあ」と思うだけでいいんです。

それだけで、次回の練習意欲が少しずつ変わってくると思いますよ。：)

### [3] 演奏のヒント！

『シンプルなものを使って』

今月は「シンプルなものを使って」というテーマで。

世の中、たっくさんのエチュードがあります。

ここ10年くらいはネットやSNSの広がりもあって、本当にいろいろな情報が簡単に手に入るようになりましたね

(それまでは、毎月専門的な雑誌を買って、そこからの情報や先生や先輩からの話から情報を手に入れていました)。

新しいエチュードの情報が手に入ると、その中身や効果が気になって、やってみたくくなりますよねえ。

その気持はとっても大事です。

でも、出てくるものすべてを買っていると、とてもじゃないけどお財布が持ちません・・・。

そして、持っているエチュードの半分でもすべてのページをやっている、という人も、実際にはあまりいないのではないのでしょうか？

エチュードは全て大切なことが学べるようになってきていると思います。

でも、大切なのはその意味を理解してすること、そしてきちんと丁寧にやることだと思います。

そこで今月の提案なのですが、シンプルな譜面を使って効果的な練習をやっていきましょう。

例えば、Koppraschの3つ目のものや（僕はよくこれを使って

やっています)、アーバンの中のシンプルな譜面のものを使って、

- ・同じ音量で
- ・同じアーティキュレーションで

これらに気をつけて練習してみてください。

「同じ音量で」というのは、フォルテやピアノで、最初から最後まで、音域やリズム、テンポに関係なく同じ音量で吹けているのかを、厳しくチェックしながらやってみましょう。

「同じアーティキュレーションで」というのは、スタッカートやテヌート、アクセントなどをすべての音に同じように表現できているかを厳しくチェックしながらやってみましょう。特に、ブレスの前後の音はちょっと変わってしまうことが多いですよ。

最後に、必ずメトロノームを使ってやりましょう！  
これ、とても大切です。

これらは、基本的で、とても重要なテクニックです。  
今すぐに始められることだと思うので（エチュードを持っていない人も、今やっている曲の楽譜でやってみてください！）、ぜひチャレンジしてくださいね！

---

## 編集後記

慌ただし日々の中、先週は2泊3日のスケジュールでロンドンに行ってきました。  
前回、7月にイタリアに行ったときもそうだったのですが、帰ってきた翌日にはオーケストラのリハーサルがありました。

僕の自慢の一つなのですが（これしかないかもしれないけど。笑）、これまで時差ボケになったことがないんです。

いろいろと気をつけているポイントはありますが、今回も無事、行きも帰りも時差ボケになることなく過ごすことができました。

さすがに楽器を持っての長距離移動なので疲れは出てましたが、ロンドンに着いた日も23時ころには眠たくなってきたし、日本に戻ってきた日も、夜まで元気よく過ごし、夜には気持ちよく寝ました。

昔から、国内の移動も国外の移動も同じような感覚で移動して過ごしているのですが、コロナ禍のあとの今、これからもそういう感覚はいい意味で持ち続けながら、広い視野を持って活動していきたいと思っています！

---

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

[info@pepeabe.com](mailto:info@pepeabe.com)

---

©阿部竜之介 『Pepeの視点』の配信停止はこちらから

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>